

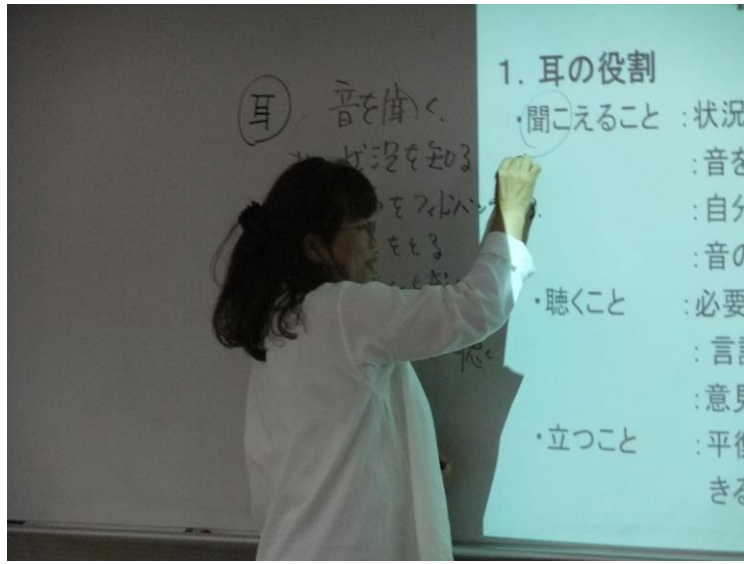
日時

H25.10.18

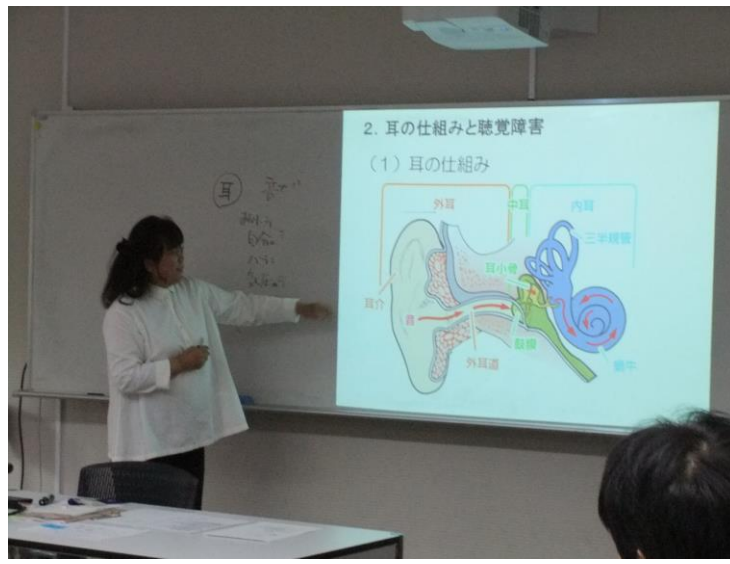
場所

名古屋商科大学 講義室

講師：坂井田さん（手話通訳者）・山田さん、福岡さん（ろう者講師）・山田さん、南雲さん（読取通訳者）



耳の役割について



耳のしくみと聴覚障害について



桃太郎の歌詞に合わせて手話をしてみる



2人1組で手話をやってみる



桃太郎の歌詞の手話を前に出て発表



桃太郎の歌詞の手話を前に出て発表



趣味は何？好きなスポーツは何？を手話で会話する



趣味は何？好きなスポーツは何？を手話を使い、2人1組で発表

日時	H25.10.18	場所	名古屋商科大学 講義室
----	-----------	----	-------------



この講義を聞いて感じたことを発表  
 ☆言葉がなくても通じ合えることが大事



スマホのおかげで視覚障害者と聴覚障害者の  
 会話が可能になった

**学生からの質問**

☆手話は世界共通ですか？ ⇒ その国によって違う。日本では日本語を手話で表す。外国人に日本の手話は通じない。  
 世界共通とまではいかないが、国際手話というのがある。会議に参加する時などに使う。

☆手話は年代で違いがありますか ⇒ 少しある。例えば、パチンコを表す時、今と昔では機器の操作方法が違うので  
 社会が変わると手話も変わる。大阪と東京で手話が違うものもある。

☆今、困っていること、支援してくれたいと思うことはなんですか？

⇒ 無人駅に行ったとき、切符が機械に通らなくて困っていたら、『お困りの方はインターホンに話しかけてください』  
 とあり、話せないで困った。別の対応を考えてほしい。

交通事故に合った時、警察に電話はできないので、メール対応してほしい。

メールで知らせたいが、どこにメールしていいのかわからない。緊急時の対応について考えてほしい。

(Web.119はあるが、Web110はない。県警で携帯電話対応はしているがスマートフォン対応していない)

⇒ すべての音を目で見える設備にしてもらえるとありがたい。

例えば、盲学校ではチャイムはランプで知らせる。色を変えることで何のお知らせか違いが分かる。いろんな所にランプがある。

**ろう者からの言葉**

☆みんなが手話を勉強しわかってもらえたら、いろんな人とコミュニケーションがとれる。

そんな世の中になってもらえたらとても嬉しい